

6月22日(土) A会場(札幌コンベンションセンター 1F 特別会議場)

8:30-10:30 一般シンポジウム 78

仮想現実空間と精神医学：不登校・ひきこもり支援にメタバースをどう活かすか

司会：藤田 純一 横浜市立大学附属病院児童精神科
加藤 隆弘 九州大学大学院医学研究院精神病態医学／九州大学病院集学的痛みセンター

S78-1 メタバースと若者の心の診療

○石井 美緒^{1,2}、戸代原 奈央¹、諸我 智子¹、高山 みづほ¹、伊藤 美乃里¹、
藤田 純一¹

¹横浜市立大学附属病院児童精神科、²川崎市総合リハビリテーション推進センター

S78-2 不登校とメタバース学校

○宮崎 智之

横浜市立大学研究・産学連携推進センター

S78-3 メタバースを通じた不登校生の居場所づくり：ぶいきゃん京都の事例発表

○水瀬 ゆず^{1,2,3}

¹一般社団法人プレプラ、²株式会社ゆずプラス、³立命館大学

S78-4 社会的ひきこもりに対するメタバース・VRによる支援法の開発

○加藤 隆弘¹、浅海 久美子²、久保 太聖¹、松島 敏夫¹、三淵 啓自³、林 裕子⁴、
浅海 道子²

¹九州大学大学院医学研究院精神病態医学、²特定非営利活動法人 JACFA、

³デジタルハリウッド大学院大学、⁴山口大学大学院技術経営研究科

〔指定発言者〕

○稲垣 貴彦

医療法人明和会琵琶湖病院／滋賀医科大学精神医学講座

〈メインコーディネーター〉 藤田 純一 横浜市立大学附属病院児童精神科

〈サブコーディネーター〉 加藤 隆弘 九州大学大学院医学研究院精神病態医学／
九州大学病院集学的痛みセンター



10:45-12:45

会長企画シンポジウム 2

都道府県及び市町村における自殺対策のイニシアチブ：自治体首長の果たす役割

司会：大塚 耕太郎 岩手医科大学医学部神経精神科学講座
河西 千秋 札幌医科大学医学部神経精神医学講座

PS2-1 岩手県の自殺対策

○達増 拓也¹、野原 勝²、大塚 耕太郎³

¹ 岩手県知事、² 企画理事兼岩手県保健福祉部長、

³ 岩手県自殺対策推進協議会会長



PS2-2 自殺リスクの低い社会の構築に向けて

○長崎 幸太郎

山梨県知事



PS2-3 別海町における "あったかい町づくり" としての自殺対策の取組について

～札幌医科大学との協働による別海町モデルの推進と成果～

○曾根 興三

別海町長



〔指定発言者〕

○河西 千秋

札幌医科大学医学部神経精神医学講座

〔指定発言者〕

○大塚 耕太郎

岩手医科大学医学部神経精神科学講座

〈メインコーディネーター〉 大塚 耕太郎 岩手医科大学医学部神経精神科学講座

〈サブコーディネーター〉 河西 千秋 札幌医科大学医学部神経精神医学講座

6月22日(土) B会場(札幌コンベンションセンター 1F 大ホール A)

8:30-10:30 一般シンポジウム 79

「職場のうつ」と「プレゼンティーズム」～診断閾下の発達障害：グレーゾーン理解の臨床応用～

司会：原田 剛志 パークサイドこころの発達クリニック

S79-1 グレーゾーンの発達特性から生じるトラブルについて

○今村 明^{1,2}

¹長崎大学生命医科学域保健学系作業療法学分野、²長崎大学子どもの心の医療・教育センター

S79-2 発達障害グレーゾーンの理解と支援

○村上 伸治

川崎医科大学精神科学教室

S79-3 過剰適応の視点からみた神経発達症の人たちのプレゼンティーズム

○本田 秀夫^{1,2,3}

¹信州大学医学部子どものこころの発達医学教室、²信州大学医学部附属病院子どものこころ診療部、³長野県発達障がい情報・支援センター

〔指定発言者〕

○神尾 陽子

神尾陽子クリニック／お茶の水女子大学

〈メインコーディネーター〉 原田 剛志 パークサイドこころの発達クリニック

〈サブコーディネーター〉 神尾 陽子 神尾陽子クリニック／お茶の水女子大学

10:45-12:45 一般シンポジウム 88

複雑性 PTSD のもたらした臨床的意義

司会：金 吉晴 国立精神・神経医療研究センター
原田 誠一 原田メンタルクリニック

S88-1 解離の文脈での(C)PTSD 概念

○岡野 憲一郎^{1,2}

¹本郷の森診療所、²京都大学

S88-2 複雑性 PTSD の我流・臨床実践

○原田 誠一

原田メンタルクリニック

S88-3 複雑性 PTSD による診療所臨床の変化について考える

○加藤 知子

かとうメンタルクリニック



S88-4 複雑性 PTSD 診断評価のための国際トラウマ面接 (ITI) の日本語版作成過程

○丹羽 まどか、金 吉晴

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

S88-5 複雑性 PTSD 概念の展望

○金 吉晴

国立精神・神経医療研究センター

〈メインコーディネーター〉 金 吉晴

国立精神・神経医療研究センター

〈サブコーディネーター〉 原田 誠一

原田メンタルクリニック

6月22日(土) C会場(札幌コンベンションセンター 1F 中ホール A)

8:30-10:30 **一般シンポジウム 80**
難しいうつ病・適応障害の患者をどう理解するか

司会：衛藤 暢明 福岡大学医学部精神医学教室

S80-1 **自己愛の傷つきを抱え遷延するうつ病に対する森田療法の介入**

○新村 秀人
大正大学臨床心理学部

S80-2 **過程としての適応障害**

○白波瀬 丈一郎
東京都済生会中央病院

S80-3 **難治性うつ病のパーソナリティからの理解
—ナルシシズムの病理と愛着外傷の視点から—**

○池田 暁史^{1,2}
¹大正大学心理社会学部臨床心理学科、²個人開業

S80-4 **身体疾患に併存する治療抵抗性うつ病**

○木村 宏之
名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野

〈メインコーディネーター〉 衛藤 暢明 福岡大学医学部精神医学教室

10:45-12:45 **一般シンポジウム 89**
実はこんなに使える森田療法

司会：北西 憲二 森田療法研究所・北西クリニック

S89-1 **森田療法の神髄と総合病院における精神科診療への活用**

○田所 重紀
札幌医科大学医学部神経精神医学講座

S89-2 **認知行動療法とは似て非なる森田療法**

○館野 歩
東京慈恵会医科大学精神医学講座

S89-3 **慢性疼痛、薬物依存症、emotional blunting への応用
—患者と治療者に活かす森田療法**

○芦澤 健
資生会千歳病院



S89-4

産業メンタルヘルスへ森田療法を生かす
～合言葉は「不安でいい、そこから始めよう」～

○小笠原 岳洋^{1,2}

¹ 株式会社 EAP 北海道、² いしかわ心療・神経クリニック

〔指定発言者〕

○北西 憲二

森田療法研究所・北西クリニック

〈メインコーディネーター〉 田所 重紀 札幌医科大学医学部神経精神医学講座

6月22日(土) D会場(札幌コンベンションセンター 1F 中ホール B)

8:30-10:30 一般シンポジウム 81

サイコロジカル・ファーストエイドを用いた COVID-19 に起因するメンタルヘルス問題への相談システムの構築

司会：中尾 智博 九州大学大学院医学研究院精神病態医学
久我 弘典 国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター

S81-1 COVID-19 に起因するメンタルヘルス問題とその対応

○中尾 智博
九州大学大学院医学研究院精神病態医学

S81-2 メンタルヘルスケアシステム KOKOROBO の現状とオンライン相談の実際

○日吉 史一^{1,2}、藤井 猛¹、竹田 和良¹、金田 匠海¹、久我 弘典^{2,3}、小居 秀紀¹、
鬼頭 伸輔^{1,4}、飯島 由佳¹、岩田 遼^{3,5}、大庭 真梨¹、村山 桂太郎⁶、吉見 明香⁷、
菊地 俊暁⁵、中尾 智博⁸、渡邊 衡一郎⁹、中込 和幸¹

¹ 国立精神・神経医療研究センター、

² 東京慈恵会医科大学大学院医学研究科医学系専攻博士課程連携大学院脳病態制御学、

³ 国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター、

⁴ 東京慈恵会医科大学精神医学講座、⁵ 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、

⁶ 九州大学病院精神科神経科、⁷ 横浜市立大学附属市民総合医療センター精神医療センター、

⁸ 九州大学大学院医学研究院精神病態医学、⁹ 杏林大学医学部精神神経科学教室

S81-3 「RAPID PFA」の紹介と、啓発に向けた展望

○大矢 希
京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学

S81-4 メンタルヘルスの問題に対応する相談員にむけた RAPID-PFA 普及への取り組みとその効果

○村山 桂太郎¹、久我 弘典²、大矢 希³、高橋 晶⁴、萱間 真美⁵、中尾 智博⁶

¹ 九州大学病院精神科神経科、² 国立精神神経医療研究センター認知行動療法センター、

³ 京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学、

⁴ 筑波大学医学医療系臨床医学域災害・地域精神医学、⁵ 国立看護大学校、

⁶ 九州大学大学院医学研究院精神病態医学

S81-5 認知行動療法の考えに基づいたデジタルメンタルヘルス： 遠隔対応型メンタルヘルスシステム「KOKOROBO」

○久我 弘典
国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター

〈メインコーディネーター〉 中尾 智博 九州大学大学院医学研究院精神病態医学

〈サブコーディネーター〉 久我 弘典 国立精神・神経医療研究センター
認知行動療法センター

村山 桂太郎 九州大学病院精神科神経科



10:45-12:45 一般シンポジウム 90

サイコオンコロジーにおける新たな診断、治療開発研究の最前線

司会： 藤澤 大介 慶應義塾大学医学部医療安全管理部／精神神経科／国立がん研究センター
明智 龍男 名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野

S90-1 サイコオンコロジー領域におけるスマートフォン精神療法の開発とその有用性検証

○明智 龍男

名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野

S90-2 統合失調症患者に対するがん検診勧奨法の開発と実装

○藤原 雅樹

岡山大学病院精神科神経科

S90-3 AI を活用したがん患者の抑うつ予測モデルの可能性

○五十嵐 江美¹、内海 裕介²、佐久間 篤²、宮内 誠 カルロス³、高屋 英知³、園部 真也^{3,4}、
富田 博秋^{1,2}

¹ 東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野、² 東北大学病院精神科、

³ 東北大学病院 Smart Hospital 推進室 AI lab、⁴ 東北大学病院脳神経外科

S90-4 がん患者の術後せん妄予防における標準医療開発：
多施設共同二重盲検ランダム化比較試験のエッセンス

○貞廣 良一、松岡 弘道

国立がん研究センター中央病院精神腫瘍科

〔指定発言者〕

○内富 庸介

国立がん研究センター

〈メインコーディネーター〉 明智 龍男

名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・
行動医学分野

〈サブコーディネーター〉 藤澤 大介

慶應義塾大学医学部医療安全管理部／精神神経科／
国立がん研究センター

6月22日(土) F会場(札幌コンベンションセンター 1F 107 会議室)

8:30-10:30 一般シンポジウム 82

精神科リエゾン専門医の多様性—臨床からリサーチへ—

司会： 和田 健 広島市立広島市民病院精神科
齋藤 円 市立ひらかた病院精神科・緩和ケア科

S82-1 AYA世代がん患者のこころのサポート～臨床からリサーチへ～

○平山 貴敏^{1,2}

¹こころサポートクリニック心療内科・精神科・腫瘍精神科、

²国立がん研究センター中央病院精神腫瘍科

S82-2 循環器領域のリエゾン—補助人工心臓チームでの活動から学んだこと—

○松坂 雄亮^{1,2,3}

¹長崎県精神医療センター、²長崎大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経科学、

³岐阜大学大学院医学系研究科医療者教育学修士課程

S82-3 腎臓移植におけるサイコネフロロジーの役割

○伊藤 聡子

東京女子医科大学精神医学講座

S82-4 「未知」を拓き「道」をつくる～周産期リエゾン～

○須田 哲史

国家公務員共済組合連合会立川病院精神神経科

S82-5 精神科医がてんかんを見ることの臨床およびリサーチでの魅力

○堀之内 徹^{1,2,3}

¹北海道大学病院精神科神経科、

²YES-Japan (Young Epilepsy Section: 日本若手てんかん従事者部門)、

³JYPO (Japan Young Psychiatrists Organization: 認定NPO 日本若手精神科医の会)

〔指定発言者〕

○西村 勝治

東京女子医科大学医学部精神医学講座

〈メインコーディネーター〉 和田 健

広島市立広島市民病院精神科

〈サブコーディネーター〉 齋藤 円

市立ひらかた病院精神科・緩和ケア科



10:45-12:45 **一般シンポジウム 91**
「対応に迷う患者」とどう関わるか

司会： 入来 晃久 地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪精神医療センター
田中 増郎 慈圭病院

S91-1 制御の難しい接近希求を表出する患者と治療者のメンタライジング

○崔 炯仁
いわくら病院

S91-2 少年院で対応に苦慮する在院者とどう関わるか

○中野 温子
浪速少年院

S91-3 対応に迷う依存症患者の理解—信頼障害という観点から成長を支援する

○小林 桜児
神奈川県立精神医療センター

S91-4 厄介で関わりたくない患者とどうかかわるか

○成瀬 暢也
埼玉県立精神医療センター

〔指定発言者〕

○長 徹二
一般財団法人信貴山病院ハートランドしぎさん

〈メインコーディネーター〉 入来 晃久 地方独立行政法人大阪府立病院機構
大阪精神医療センター

〈サブコーディネーター〉 大矢 希 京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学
長 徹二 一般財団法人信貴山病院ハートランドしぎさん

13:15-15:15 **一般シンポジウム 97**
アルコール依存症の臨床現場を変革する—次世代のアルコール依存症臨床家を育む研修プログラム

司会： 齋藤 利和 社会医療法人博友会平岸病院／札幌医科大学
佐久間 寛之 独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター

S97-1 研修に参加にして、何が血肉になったか？

○福田 貴博
あきやま病院

S97-2 新しいアルコール依存症臨床研修の特徴と特色

○佐久間 寛之
独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター

S97-3 インストラクショナルデザインとの遭遇は依存症の臨床研修プログラムに何を
もたらしたのか

○杉浦 真由美
北海道大学

S97-4 新しい研修に求めるもの～より良い依存症支援につなげるために～

○岡村 真紀
医療法人信和会高嶺病院

S97-5 依存症治療の過去と未来

○齋藤 利和^{1,2}
¹ 社会医療法人博友会平岸病院、² 札幌医科大学

〔指定発言者〕

○手塚 幸雄
医療法人タピック沖縄リハビリテーションセンター病院

〔指定発言者〕

○成瀬 暢也
埼玉県立精神医療センター

〈メインコーディネーター〉 佐久間 寛之 独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター
〈サブコーディネーター〉 齋藤 利和 社会医療法人博友会平岸病院／札幌医科大学



6月22日(土) G会場(札幌コンベンションセンター 1F 108 会議室)

8:30-10:30 一般シンポジウム 83

精神疾患の認知・社会機能の改善に役立つ睡眠・覚醒の知識

司会：三島 和夫 秋田大学大学院医学系研究科精神科学講座
住吉 太幹 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・予防精神医学研究部／
国立高度専門医療研究センター医療研究連携推進本部

S83-1 精神疾患患者の睡眠・覚醒状態が認知・社会機能へ及ぼす影響

○三島 和夫
秋田大学大学院医学系研究科精神科学講座

S83-2 概日リズム障害と認知機能障害

○高江洲 義和
琉球大学大学院医学研究科精神病態医学講座

S83-3 精神疾患患者に併発する不眠と認知機能障害

○比江嶋 啓至、小曾根 基裕
久留米大学医学部神経精神医学講座

S83-4 精神疾患における過眠・日中眠気と認知機能障害

○北島 剛司
藤田医科大学医学部精神神経科学講座

S83-5 精神疾患の認知機能障害の評価法、介入法、睡眠による影響

○豊巻 敦人
北海道大学大学院医学研究院精神医学教室

〈メインコーディネーター〉 三島 和夫 秋田大学大学院医学系研究科精神科学講座
〈サブコーディネーター〉 住吉 太幹 国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所児童・予防精神医学研究部／
国立高度専門医療研究センター
医療研究連携推進本部

10:45-12:45 一般シンポジウム 92

精神科領域における身体合併症を再考する

司会：稲本 淳子 昭和大学横浜市北部病院メンタルケアセンター
渡邊 衡一郎 杏林大学医学部精神神経科学教室

S92-1 抗精神病薬の薬剤性錐体外路症状について

○坪井 貴嗣
杏林大学医学部精神神経科学教室

S92-2 単科精神科病院における現実的かつ実効性のある肺塞栓予防対策を考える

○石田 琢人
東京都立松沢病院

S92-3 精神科領域における便秘症

○山田 浩樹^{1,2}
¹昭和大学横浜市北部病院メンタルケアセンター、²昭和大学医学部精神医学講座

S92-4 肥満・耐糖能異常などの副作用発症リスクの違いによる第2世代抗精神病薬の選択

○鈴木 雄太郎^{1,2}
¹医療法人敬愛会末広橋病院、²新潟大学医歯学総合病院精神科

〈メインコーディネーター〉 坪井 貴嗣 杏林大学医学部精神神経科学教室

13:15-15:15 **委員会企画シンポジウム 27** (医療 DX に関する委員会)
精神科領域を取り巻く医療 DX の現状と今後

司会： 稲垣 中 青山学院大学教育人間科学部／青山学院大学保健管理センター
吉村 健佑 千葉大学医学部附属病院次世代医療構想センター

CS27-1 精神医療過疎地における ICT を活用した診療の実装報告と精神保健指定医業務への活用について

○佐々木 由佳
岩手県立一戸病院

CS27-2 医療 DX を取り巻く政策動向

○木下 翔太郎^{1,2}
¹慶應義塾大学医学部ヒルズ未来予防医療・ウェルネス共同研究講座、
²東京大学大学院学際情報学府

CS27-3 自治体・行政現場における DX 事例

○辻本 哲士^{1,2}
¹滋賀県立精神保健福祉センター、²全国精神保健福祉センター長会

CS27-4 デジタル技術による持続可能な医療

○上野 太郎
サスメド株式会社



CS27-5 対面診療に比したオンライン診療の非劣性試験 J-PROTECT の成果と展望

○岸本 泰士郎

慶應義塾大学医学部ヒルズ未来予防医療・ウェルネス共同研究講座

〈メインコーディネーター〉 岸本 泰士郎 慶應義塾大学医学部ヒルズ未来予防医療・
ウェルネス共同研究講座

〈サブコーディネーター〉 木下 翔太郎 慶應義塾大学医学部ヒルズ未来予防医療・
ウェルネス共同研究講座／
東京大学大学院学際情報学府

6月22日(土) H会場(札幌コンベンションセンター 2F 小ホール)

8:30-10:30 一般シンポジウム 84

日本生物学的精神医学会との合同シンポジウム「若手のための生物学的精神医学」

司会：上野 修一 愛媛大学
中川 伸 山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座

S84-1 社会性行動と視床との関連
～ヒトとマウスにおけるオキシトシンからみえてきたもの～

○山室 和彦
奈良県立医科大学精神医学講座

S84-2 精神疾患の神経生理学的研究におけるトランスレーショナル研究

○多田 真理子
順天堂大学大学院医学研究科精神・行動科学

S84-3 疫学研究の視点からみた生物学的精神医学

○小原 知之
九州大学病院精神科神経科

S84-4 統合失調症の現在の分子生物学研究

○塩飽 裕紀
東京医科歯科大学大学院精神行動医科学分野

〔指定発言者〕

○久住 一郎
北海道大学

〈メインコーディネーター〉 上野 修一 愛媛大学
〈サブコーディネーター〉 中川 伸 山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座

10:45-12:45 委員会企画シンポジウム 23 (ICD-11 委員会)

ICD-11 における鑑別診断：診断要件と臨床的判断

司会：針間 博彦 東京都立松沢病院
神庭 重信 社会医療法人栗山会飯田病院精神科／日本うつ病センター

CS23-1 ICD-11 におけるパーソナリティ症と自閉スペクトラム症の比較検討

○加藤 敏^{1,2}
¹ 小山富士見台病院、² 自治医科大学

CS23-2 ICD-11 における精神症と気分症の鑑別

○須賀 英道
龍谷大学



CS23-3 ICD-11 CDDR にみる鑑別診断と臨床的判断

○針間 博彦
東京都立松沢病院

CS23-4 解離症と統合失調症

○柴山 雅俊
株式会社商船三井医務室

CS23-5 ICD-11 における適応反応症

○本村 啓介^{1,2}
¹ 国立病院機構さいがた医療センター、² 国立病院機構肥前精神医療センター

〈メインコーディネーター〉 針間 博彦 東京都立松沢病院
〈サブコーディネーター〉 神庭 重信 社会医療法人栗山会飯田病院精神科／
日本うつ病センター
丸田 敏雅 聖徳大学

13:15-15:15 委員会企画シンポジウム 28 (PCN Reports 編集委員会)

若手精神科医のための臨床研究事始め (第二弾) - 論文化の際の英語、統計解析、査読の壁を超える

司会：鈴木 道雄 富山大学
明智 龍男 名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野

CS28-1 「査読の壁」を超える

○笹林 大樹^{1,2,3}
¹ 富山大学学術研究部医学系神経精神医学講座、
² 富山大学研究推進機構アイドリング脳科学研究センター、
³ ハーバード大学医学大学院ブリガムアンドウィメンズ病院精神神経画像研究所

CS28-2 若手精神科医が統計解析の壁を超えるために

○川俣 安史
獨協医科大学精神神経医学講座

CS28-3 英語論文化の「壁」と「越える方法」を再考する

○稲川 優多
自治医科大学精神医学講座

〔指定発言者〕

○古郡 規雄

獨協医科大学精神神経医学講座

〔指定発言者〕

○須田 史朗

自治医科大学精神医学講座

〈メインコーディネーター〉 明智 龍男

名古屋市立大学大学院医学研究科精神・
認知・行動医学分野

〈サブコーディネーター〉 鈴木 道雄

富山大学



6月22日(土) | 会場(札幌コンベンションセンター 2F 204 会議室)

8:30-10:30 委員会企画シンポジウム 20 (多職種協働委員会)

改めて当事者・家族中心の多職種協働を考える ～当事者中心の治療・支援の実現に向けて～

司会：中尾 智博 九州大学大学院医学研究院精神病態医学
森川 将行 三重県立こころの医療センター／奈良県立医科大学精神医学講座

CS20-1 パーソナルリカバリーを意識して当事者中心の治療・支援に向ける

○渡邊 衡一郎
杏林大学医学部精神神経科学教室

CS20-2 多職種・多機関協働で支えるリカバリー
～あさかホスピタルにおける実践から～

○桑原 純一郎
社会医療法人あさかホスピタル

CS20-3 ほっとステーションの多職種協働による家族支援について

○村山 ひとみ
医療法人社団ほっとステーション大通公園メンタルクリニック

CS20-4 障害者メディア事業所においてメンバーが語る(働く)ことを考える

○服部 篤隆、丸子 慎平、杉本 香、田中 良人
公益財団法人北海道精神保健推進協会こころカ・プロダクション

〔指定発言者〕

○後藤 雅博
こころのクリニックウイズ

〈メインコーディネーター〉 佐久間 啓 社会医療法人あさかホスピタル
〈サブコーディネーター〉 森川 将行 三重県立こころの医療センター／
奈良県立医科大学精神医学講座

10:45-12:45 委員会企画シンポジウム 24 (PCN 編集委員会)

精神疾患の神経科学の最前線

司会：加藤 忠史 順天堂大学
高橋 英彦 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科精神行動医科学

CS24-1 双方向トランスレーショナル研究による精神疾患の病態解明における
ヒト脳 MRI 研究の役割

○小池 進介^{1,2,3}

¹ 東京大学心の多様性と適応の連携研究機構、

² 東京大学大学院総合文化研究科進化認知科学研究センター、

³ 東京大学ニューロインテリジェンス国際研究機構

CS24-2 精神疾患ゲノム研究と臨床精神医学

○池田 匡志
名古屋大学大学院医学系研究科精神医学講座

CS24-3 精神疾患病態における免疫細胞の役割

○牧之段 学
藤田医科大学精神神経科学講座

CS24-4 精神展開剤 (psychedelics) による精神疾患治療の過去・現在・未来

○内田 裕之
慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

〈メインコーディネーター〉 加藤 忠史 順天堂大学

13:15-15:15 一般シンポジウム 98
自殺未遂者ケアのいま

司会：川島 義高 明治大学文学部心理社会学科臨床心理学専攻
衛藤 暢明 福岡大学医学部精神医学教室

S98-1 適応障害と自殺企図行動

○佐野 智章^{1,2}、石橋 竜太郎²、柏木 智則²、河西 千秋²
¹帯広厚生病院精神科、²札幌医科大学神経精神医学講座

S98-2 ACTION-J 研究の地域展開

○石橋 竜太郎¹、伊藤 侯輝²、磯山 友幸³、東谷 敬介²、坪内 雅行³、久住 一郎⁴、
鎌田 隼輔⁵、河西 千秋¹
¹札幌医科大学医学部神経精神医学講座、²市立札幌病院精神科、³北海道医療センター精神科、
⁴北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室、⁵札幌市精神保健福祉センター

S98-3 新型コロナウイルスと自殺未遂者

○衛藤 暢明、浦田 裕美、増田 将人、石田 匡宏、後藤 玲央、川崎 弘詔
福岡大学医学部精神医学教室

S98-4 自殺未遂者への関わりから見えてくるもの：
当事者インタビューから考える自殺未遂者ケア

○政木 舞子
高知県立精神保健福祉センター

〈メインコーディネーター〉 川島 義高 明治大学文学部心理社会学科臨床心理学専攻
〈サブコーディネーター〉 衛藤 暢明 福岡大学医学部精神医学教室



6月22日(土) J会場(札幌コンベンションセンター 2F 201+202 会議室)

8:30-10:30 委員会企画シンポジウム 21 (認知症委員会)
認知症の医・倫理・法

司会：品川 俊一郎 東京慈恵会医科大学精神医学講座
井藤 佳恵 東京都健康長寿医療センター研究所

CS21-1 認知症初期集中支援チームの法的・倫理的課題

○繁信 和恵^{1,2}

¹公益財団法人浅香山病院、²大阪大学大学院連合小児発達学研究所行動神経学

CS21-2 非自発的入院、インフォームド・コンセント、意思決定支援

○秋葉 悦子

富山大学

CS21-3 認知症と刑事責任能力

○村松 太郎

慶應義塾大学医学部精神神経科学教室

CS21-4 認知機能の下がった方の運転

○高木 俊輔

東京医科歯科大学精神行動医科学分野

CS21-5 倫理委員会の本来の役割とは何かー認知症医療の視点からー

○齋藤 正彦

東京都立松沢病院

〈メインコーディネーター〉 井藤 佳恵

東京都健康長寿医療センター研究所

〈サブコーディネーター〉 池田 学

大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室

10:45-12:45 委員会企画シンポジウム 25 (急性期治療のあり方検討委員会)
地域の課題解決にむけた精神科急性期医療

司会：来住 由樹 地方独立行政法人岡山県精神科医療センター
水野 雅文 東京都立松沢病院

CS25-1 精神科急性期医療の中での総合病院精神科の重要な役割

○船山 道隆

足利赤十字病院神経精神科

CS25-2 沖縄県の課題解決にむけた精神科急性期医療

○平安 良雄

社会医療法人へいあん平安病院

CS25-3 総合病院・多様な近接領域から信頼される単科精神科病院を目指して

○森脇 久視

神奈川県立精神医療センター

CS25-4 長く解決されていない課題と精神科急性期医療のあり方

○河野 次郎

宮崎県立宮崎病院精神医療センター

〈メインコーディネーター〉 来住 由樹 地方独立行政法人岡山県精神科医療センター

〈サブコーディネーター〉 水野 雅文 東京都立松沢病院

13:15-15:15 **委員会企画シンポジウム 29** (親子・学校・女性に関する委員会)
親子・学校・女性の支援って? ~機関を越えてつながり支えていく~

司会： 二宮 貴至 浜松市精神保健福祉センター
上野 千穂 京都市第二児童福祉センター診療所

CS29-1 精神科医が行う親子支援 - 病院内外にわたる活動 -

○飯田 直子

京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学

CS29-2 母親を救うということ~周産期メンタルヘルスの役割とは~

○佐藤 真耶

聖ルチア会聖ルチア病院

CS29-3 精神科医に求められる学校教職員への支援の方法について考える

○船渡川 智之

東邦大学医学部精神神経医学講座

CS29-4 親子・学校・女性に関する精神保健の現状と課題

○細金 奈奈

社会福祉法人恩賜財団母子愛育会総合母子保健センター愛育クリニック小児精神保健科

〔指定発言者〕

○林 みづ穂

仙台市精神保健福祉総合センター

〈メインコーディネーター〉 渡辺 雅子 医療法人社団千紫会新宿神経クリニック



6月22日(土) K会場(札幌コンベンションセンター 2F 206 会議室)

8:30-10:30 委員会企画シンポジウム 22 (精神科医療機器委員会)
本邦における脳刺激療法の到達点と今後の展開

司会：高橋 隼 大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室
奥村 正紀 東京都立豊島病院精神科

CS22-1 rTMS 療法適正指針の改訂について

○松田 勇紀^{1,2,3}、高橋 隼⁴、鬼頭 伸輔^{2,3}

¹ 京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康増進・行動学、

² 東京慈恵会医科大学精神医学講座、³ 国立精神・神経医療研究センター病院、

⁴ 大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室

CS22-2 有効な痙攣時間のための麻酔管理法

○門井 雄司

群馬大学医学部附属病院

CS22-3 rTMS 療法の保険収載後 5 年間の歩み

○中村 元昭

昭和大学発達障害医療研究所

CS22-4 ECT の現状と今後

○野田 隆政

国立精神・神経医療研究センター病院

〔指定発言者〕

○中村 満

医療法人社団翠会成増厚生病院

〔指定発言者〕

○鬼頭 伸輔

国立精神・神経医療研究センター病院精神診療部

〈メインコーディネーター〉 高橋 隼

大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室

〈サブコーディネーター〉 奥村 正紀

東京都立豊島病院精神科

高橋 英彦

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科
精神行動医科学



13:15-15:15 **委員会企画シンポジウム 30** (ガイドライン検討委員会)
日本精神神経学会は精神科領域のガイドラインにどのように関与すべきか

司会：尾崎 紀夫 名古屋大学大学院医学系研究科精神疾患病態解明学
中川 伸 山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座

CS30-1 **向精神薬が自動車の運転技能に及ぼす影響の評価方法に関するガイドライン**

○岩本 邦弘
名古屋大学大学院医学系研究科発達老年精神医学分野

CS30-2 **統合失調症に関連する診療ガイドラインへの日本精神神経学会の関与**

○稲田 健
北里大学医学部精神科学

CS30-3 **「日本うつ病学会 大うつ病性障害の診療ガイドライン（仮）」との協力**

○馬場 元^{1,2}
¹ 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院メンタルクリニック、
² 順天堂大学大学院医学系研究科精神・行動科学

CS30-4 **日本うつ病学会診療ガイドライン双極症 2023**

○松尾 幸治^{1,2}
¹ 埼玉医科大学医学部精神医学、² 埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科

CS30-5 **不安症・強迫症の診療ガイドラインへの日本精神神経学会の関与**

○井上 猛
東京医科大学精神医学分野

〔指定発言者〕

○三村 將
慶應義塾大学予防医療センター

〔指定発言者〕

○仙波 純一
東京愛成会たかつきクリニック

〈メインコーディネーター〉 橋本 亮太

国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所精神疾患病態研究部

〈サブコーディネーター〉 尾崎 紀夫

名古屋大学大学院医学系研究科精神疾患病態解明学

6月22日(土) L会場(札幌コンベンションセンター 2F 207 会議室)

8:30-10:10 ワークショップ 8

措置診察実践セミナー(平成30年ガイドライン・令和5年法改正準拠)【事前申込制】

司会：藤井 千代 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
新津 富央 千葉大学大学院医学研究院精神医学

WS8 <講演者> 平田 豊明 千葉県精神科医療センター・
医療法人学術会木村病院
椎名 明大 千葉大学社会精神保健教育研究センター
鈴木 陽大 千葉大学医学部附属病院精神神経科
<メインコーディネーター> 藤井 千代 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
<サブコーディネーター> 田所 重紀 札幌医科大学医学部神経精神医学講座

10:45-12:25 ワークショップ 9 (司法精神医学研修委員会)

そこが知りたい! 刑事精神鑑定のコツ

司会：今井 淳司 東京都立松沢病院精神科
山口 大樹 東邦大学医学部精神神経医学講座

WS9 <講演者> 高尾 碧 島根県立こころの医療センター
崎川 典子 東京武蔵野病院
中岡 健太郎 愛知県精神医療センター
赤崎 安昭 鹿児島大学医学部保健学科
中島 直 医療法人社団新新会多摩あおば病院
田口 寿子 神奈川県立精神医療センター
<メインコーディネーター> 田口 寿子 神奈川県立精神医療センター
<サブコーディネーター> 今井 淳司 東京都立松沢病院精神科



13:15-14:55 **ワークショップ 10** (精神療法研修委員会)
映像で学ぶ初診面接—薬物療法を拒む / 望まない患者編—

司会：菊地 俊暁 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室
南澤 淳美 京都府立医科大学精神医学教室

WS10	〈講演者〉	原田 誠一	原田メンタルクリニック
		新村 秀人	大正大学臨床心理学部
		今井 淳司	東京都立松沢病院精神科
		田中 裕記	国立病院機構九州医療センター 精神神経科／合併精神センター／ 臨床研究センター
	〈メインコーディネーター〉	今井 淳司	東京都立松沢病院精神科
	〈サブコーディネーター〉	菊地 俊暁	慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

6月22日(土) M会場(札幌市産業振興センター 産業振興棟 2F セミナールーム A)

8:30-10:30 一般シンポジウム 85
アルコール使用障害の社会問題・健康問題

司会：辻本 士郎 ひがし布施クリニック
射場 亜希子 兵庫県立はりま姫路総合医療センター

S85-1 虐待の連鎖から回復の連鎖へ

○青山 久美
地方独立行政法人神奈川県立病院機構神奈川県立精神医療センター

S85-2 飲酒運転と運転免許

○杠 岳文^{1,2}
¹筑後吉井こころホスピタル、²肥前精神医療センター

S85-3 総合病院における他科・多職種連携を考える

○上田 裕子
兵庫県立はりま姫路総合医療センター

S85-4 アルコール使用障害患者の自傷・自殺にどう対応するか

○成瀬 暢也
埼玉県立精神医療センター

S85-5 アルコール依存症患者の肝移植前後の困難さ

○岡 知加、岡田 元宏
三重大学医学部附属病院

〔指定発言者〕

○辻本 士郎
ひがし布施クリニック

〈メインコーディネーター〉 射場 亜希子 兵庫県立はりま姫路総合医療センター

〈サブコーディネーター〉 田中 増郎 慈圭病院



10:45-12:45

一般シンポジウム 93

精神医学における Measurement based care の必要性

司会：加藤 正樹
菊地 俊暁

関西医科大学医学部医学科精神神経科学講座
慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

S93-1

認知機能障害評価を忙しい臨床現場で活用する方法

○堀 輝

福岡大学医学部精神医学教室

S93-2

睡眠に着目した Measurement based care

○高江洲 義和

琉球大学大学院医学研究科精神病態医学講座

S93-3

精神医学における Measurement based care 概論： 有益性と乗り越えるべき課題について

○菊地 俊暁

慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

S93-4

診療向上ツールとしての MBC のすゝめ

○加藤 正樹

関西医科大学精神神経科学講座

〔指定発言者〕

○渡邊 衡一郎

杏林大学医学部精神神経科学教室

〈メインコーディネーター〉 菊地 俊暁

慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

〈サブコーディネーター〉 加藤 正樹

関西医科大学医学部医学科精神神経科学講座

13:15-15:15 **一般シンポジウム 99**
神経発達症と神経多様性

司会：小坂 浩隆 福井大学医学部精神医学
辻井 農亜 富山大学附属病院こどものこころと発達診療学講座

S99-1 **成人期の発達障害に対するデイケアプログラム**

○太田 晴久^{1,2}、五十嵐 美紀^{1,2}、横井 英樹^{1,2}、水野 健^{1,2}、中村 元昭^{1,2}、沖村 宰^{1,2}、
佐賀 信之²、橘 知之²、山田 真理²、小田 也寸志²、中井 文香²、岩波 明²、
加藤 進昌^{1,3}

¹ 昭和大学発達障害医療研究所、² 昭和大学附属烏山病院、³ 小石川東京病院

S99-2 **神経発達症とうつ状態**

○國井 泰人
東北大学災害科学国際研究所災害精神医学分野

S99-3 **神経発達症の多様性を見据えた発達歴の聴取**

○辻井 農亜
富山大学附属病院こどものこころと発達診療学講座

S99-4 **神経発達症と睡眠障害**

○高江洲 義和
琉球大学大学院医学研究科精神病態医学講座

S99-5 **自閉スペクトラム症と注意欠如多動症の類似性と相違性**

○高橋 長秀
名古屋大学医学部附属病院親と子どもの心療科

〈メインコーディネーター〉 小坂 浩隆 福井大学医学部精神医学

〈サブコーディネーター〉 辻井 農亜 富山大学附属病院こどものこころと発達診療学講座



6月22日(土) N会場(札幌市産業振興センター 産業振興棟 2F セミナールーム B)

8:30-10:30 一般シンポジウム 86

小児期逆境体験の中長期的影響と支援を再考する

司会： 榎屋 二郎 東京医科大学精神医学分野／東京医科大学病院こどものこころ診療部門
八木 淳子 岩手医科大学医学部神経精神科学／岩手医科大学附属病院児童精神科

S86-1 自然災害と地域のトラウマ—子どもの発達とメンタルヘルスへの中長期的影響—

○八木 淳子^{1,2}、榎屋 二郎^{3,4} 福地 成⁵、松浦 直己⁶

¹岩手医科大学医学部神経精神科学、²岩手医科大学附属病院児童精神科、
³東京医科大学精神医学分野、⁴東京医科大学病院こどものこころ診療部門、
⁵東北医科薬科大学医学部精神科学教室、⁶国立大学法人三重大学教育学部特別支援教育講座

S86-2 精神疾患を抱える家族の中で育つ子どもへの対応

○福地 成^{1,2}

¹東北医科薬科大学医学部精神科学教室、
²公益社団法人宮城県精神保健福祉協会みやぎ心のケアセンター

S86-3 子ども時代のいじめ被害による短期から長期にわたる心理的影響

○榎屋 二郎^{1,2}

¹東京医科大学精神医学分野、²東京医科大学病院こどものこころ診療部門

S86-4 深刻な非行少年の児童期逆境体験の特性と最新の知見

○松浦 直己^{1,2}

¹三重大学教育学部、²三重大学教育学部附属学校企画経営室

〈メインコーディネーター〉 榎屋 二郎 東京医科大学精神医学分野／
東京医科大学病院こどものこころ診療部門
〈サブコーディネーター〉 八木 淳子 岩手医科大学医学部神経精神科学／
岩手医科大学附属病院児童精神科

10:45-12:45 一般シンポジウム 94

微量リチウムのもつ可能性を考える - 研究と臨床の前線から -

司会： 安藤 俊太郎 東京大学
寺尾 岳 大分大学医学部精神神経医学講座

S94-1 微量なりチウムに期待される臨床効果

○寺尾 岳

大分大学医学部精神神経医学講座

S94-2 自殺者と非自殺者の体内リチウム濃度比較：眼房水解析

○安藤 俊太郎^{1,6}、鈴木 秀人²、松川 岳久³、宇佐美 慧¹、村松 尚範²、福永 龍繁⁴、
横山 和仁³、岡崎 祐士⁵、西田 淳志⁶

¹ 東京大学、² 東京都監察医務院、³ 順天堂大学、⁴ 科学警察研究所、⁵ 道ノ尾病院、

⁶ 東京都医学総合研究所

S94-3 思春期のメンタルヘルスと微量リチウムとの関連：大規模コホート研究

○西田 淳志

東京都医学総合研究所社会健康医学研究センター

S94-4 極少量炭酸リチウムと少量向精神薬処方の実践

○杉山 登志郎^{1,2}

¹ 福井大学子どものこころの発達研究センター、² 浜松市子どものこころの診療所

〈メインコーディネーター〉 安藤 俊太郎 東京大学

〈サブコーディネーター〉 寺尾 岳 大分大学医学部精神神経医学講座

13:15-15:15 一般シンポジウム 100**自己免疫性脳炎 / 自己免疫疾患と精神科臨床**

司会： 神林 崇 筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構 / 茨城県立こころの医療センター
来住 由樹 地方独立行政法人岡山県精神科医療センター

S100-1 精神科臨床における自己免疫性脳炎 / 脳症

○筒井 幸^{1,2,3}、大森 佑貴⁴、神林 崇^{5,6}、加藤 倫紀¹、嵯峨 佑史¹、加藤 征夫¹、
田中 恵子⁷

¹ 特定医療法人祐愛会加藤病院、² 平鹿総合病院心療センター、

³ 秋田大学大学院医学系研究科医学専攻病態制御医学系精神科学講座、

⁴ 東京都健康長寿医療センター精神科、⁵ 筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構、

⁶ 茨城県立こころの医療センター、⁷ 新潟大学脳研究所モデル動物開発分野

S100-2 自己免疫性脳炎 / 自己免疫疾患と認知症

○千葉 悠平^{1,2}、阿部 紀絵¹、服部 早紀¹、伊倉 崇浩¹、斎藤 知之^{1,7}、勝瀬 大海¹、
須田 顕³、藤城 弘樹⁴、高橋 幸利⁵、西野 精治⁶

¹ 横浜市立大学医学部精神医学教室、² 積愛会横浜舞岡病院、

³ 横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター精神医療センター、

⁴ 名古屋大学大学院医学系研究科精神医療学、⁵ 静岡てんかん・神経医療センター、

⁶ スタンフォード大学医学部精神医学、⁷ よりどころメンタルクリニック桜木町

S100-3 自己免疫性脳炎の広がり抗体検査を巡る話題

○田中 恵子^{1,2}、川村 名子²、崎村 建司²、阿部 学²

¹ 福島県立医科大学多発性硬化症治療学講座、² 新潟大学脳研究所モデル動物開発分野



S100-4

精神症の自己免疫性と内因性

○高木 学¹、酒本 真次²、岡久 祐子²、樋之津 健二²、和田 菜那美³、河合 弘樹²

¹ 岡山大学学術研究院医歯薬学域精神神経病態学、² 岡山大学病院精神科神経科、

³ 岡山大学医歯薬学総合研究科精神神経病態学

〈メインコーディネーター〉 神林 崇

筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構／

茨城県立こころの医療センター

〈サブコーディネーター〉 高木 学

岡山大学学術研究院医歯薬学域精神神経病態学

〈サブコーディネーター〉 来住 由樹

地方独立行政法人岡山県精神科医療センター

6月22日(土) 0会場(札幌市産業振興センター 産業振興棟 2F セミナールームC)

8:30-9:30 一般演題(口演) 19
摂食障害

司会: 岡本 百合 広島大学保健管理センター

3-019-1 摂食障害を有する窃盗服役者における幼少期の逆境体験(ACE)と摂食障害の重症度

○岡村 麻梨佳^{1,2}、宮本 悦子¹、岡田 幸之²、奥村 雄介¹

¹東日本矯正医療センター、

²東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科精神行動医科学(犯罪精神医学担当)

3-019-2 小児アスリートで、一次性運動依存と摂食障害を併発した1例

○奥川 頌梨、射場 亜希子、太田 翔吾、荒木 直人、塚本 亮、田中 司、忍頂寺 毅史、木村 敦

兵庫県立はりま姫路総合医療センター

3-019-3 山口大学医学部附属病院精神科神経科における摂食障害入院治療プログラムの効果検証

○樋口 文宏¹、増本 政也¹、陳 冲¹、光井 瞳¹、樋口 尚子²、原田 健一郎¹、松原 敏郎¹、中川 伸¹

¹山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学分野、²山口大学保健管理センター

3-019-4 神経性やせ症の行動変容困難

○磯部 昌憲¹

¹京都大学医学部附属病院、²京都大学大学院医学研究科精神医学教室

3-019-5 神経発達症、知的障害が併存した周期性嘔吐症に小児科と連携した薬物療法が有効であった中学生女児の一例

○野間口 和也¹、原口 昌明¹、西村 賢人¹、今村 研介¹、田川 真一朗¹、島田 尚子¹、浦田 結嘉¹、崎元 仁志¹、佐々木 なつき¹、堀之内 健祐²、野村 裕一²、中村 雅之¹

¹鹿児島大学大学院医歯学総合研究科精神機能病学分野、²鹿児島市立病院小児科

9:30-10:30 一般演題(口演) 21
精神保健・福祉

司会: 鎌田 隼輔 札幌市保健福祉局精神保健福祉センター

3-021-1 精神科救急病棟における入院期間中の外出泊と再入院の関連性について

○佐藤 裕一¹、山本 和弘¹、工藤 智博²、沖野 和磨²、笹森 大貴²、山田 浩樹²、富岡 大²、稲本 淳子²

¹昭和大学横浜市北部病院総合サポートセンター、²昭和大学横浜市北部病院メンタルケアセンター



3-021-2 日本における精神科退院前訪問看護の実施状況：退院に関する医療計画指標との関連検証

○森内 加奈恵¹、菊地 信示郎¹、野崎 章子²、吉村 健佑³

¹ 千葉大学医学部附属病院看護部、² 千葉大学大学院看護学研究院、

³ 千葉大学医学部附属病院次世代医療構想センター

3-021-3 非自発的入院をめぐる患者の経験と解釈に関する考察
—経験者を対象としたインタビュー調査から

○榎原 克哉、添田 雅宏、若林 真衣子

東京通信大学

3-021-4 滋賀県における県・市等が連携・協力した自殺対策

○辻本 哲士

滋賀県立精神保健福祉センター

3-021-5 医療保護入院等の運用実態に関する予備的調査 - 措置入院と医療保護入院の区分の不明瞭さに主眼をおいて -

○渡辺 杏里¹、岡 正悟²、松岡 照之^{1,3}、三木 秀樹²、岡崎 真也²、赤澤 祐貴²、
沢井 真樹²、樋川 毅²、竹田 明子²、高木 翔太²、大塚 剛史²、山野 純弘³、
綾仁 信貴^{1,3}、成木 迅¹

¹ 京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学、² 医療法人栄仁会宇治おうばく病院、

³ 独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センター精神科

10:45-12:45 一般シンポジウム 95

地域精神医療に役立てる「浦河べてるの家」の精神科クリニカル・パールの探究

司会：今村 弥生

加藤 伸輔

杏林大学医学部精神神経科学教室

NPO 法人地域精神保健福祉機構（コンボ）

S95-1 精神科研修医、グループホームに住む 当事者と共に学ぶ医学教育についての考察

○今村 弥生

杏林大学医学部精神神経科学教室

S95-2 精神医学と浦河べてるの家

○丹羽 真一

福島県立医科大学会津医療センター精神医学講座

S95-3 精神科看護師が「浦河べてるの家」と出会い感じた実践

○村本 好孝

株式会社ここから

S95-4 ドイツ Bethel の取り組みから見た浦河町の実践と、本邦におけるこれからの課題

○倉持 泉
埼玉医科大学総合医療センター神経精神科

S95-5 「人として」 出会う：一人暮らしの「生と死」を支える人たち

○浮ヶ谷 幸代
自治医科大学

〔指定発言者〕

○黒木 俊秀
九州大学大学院人間環境学研究院臨床心理学講座

〈メインコーディネーター〉 今村 弥生 杏林大学医学部精神神経科学教室

13:15-15:15 一般シンポジウム 101

児童精神保健福祉の地域対応力の向上－児童精神科診療所と地域連携による子どもを支える基盤づくり－

司会：大嶋 正浩 医療法人社団至空会メンタルクリニック・ダダ
大高 一則 医療法人大高クリニック

S101-1 福祉施設との児童精神科診療所の連携について
～相談支援事業所の運営を通して～

○中庭 洋一¹、椎葉 亮²、若原 孔明²、中庭 幸江²
¹なかにわメンタルクリニック、²株式会社なかにわ

S101-2 学校と児童精神科診療所との連携―立場や背景の違いを乗り越えて

○大瀧 和男
医療法人和音会かずおメンタルクリニック

S101-3 児童精神科診療所と家庭支援センターとの連携で得られること

○中野 育子¹、今泉 明子²
¹医療法人花水木札幌こころの診療所、²社会福祉法人常徳会興正こども家庭支援センター大通分室

S101-4 児童精神科医療から発信する岡山県・岡山市における地域の発達障害支援

○中島 洋子¹、井上 悠里¹、串田 吉生¹、笹野 京子²、壺内 昌子³
¹医療法人豊仁会まな星クリニック、²医療法人なのはなクリニック、³岡山市児童相談所

〈メインコーディネーター〉 大高 一則 医療法人大高クリニック
〈サブコーディネーター〉 大嶋 正浩 医療法人社団至空会メンタルクリニック・ダダ



6月22日(土) P会場(札幌市産業振興センター 技能訓練棟 3F セミナールーム1)

8:30-10:30 一般シンポジウム 87

賛否両論ある病気 (Contested illness) への対応

司会：宮岡 等 北里大学/医薬品医療機器総合機構
齊尾 武郎 SMBC 日興証券ウェルネス推進室

S87-1 総合診療医が診る MUS (Medically Unexplained Symptoms)

○宮田 靖志
愛知医科大学医学部地域総合診療医学寄附講座

S87-2 不易流行の医学：健全な懐疑主義は賛否両論ある病気を義に導く

○齊尾 武郎
SMBC 日興証券ウェルネス推進室

S87-3 リエゾン精神医療からみた contested illness

○宮岡 等^{1,2}
¹北里大学、²医薬品医療機器総合機構

S87-4 賛否両論ある病気 (Contested illness) への対応 - 慢性疼痛疾患についての私見

○柴田 政彦
奈良学園大学保健医療学部

〔指定発言者〕

○栗原 千絵子
神奈川大学

〈メインコーディネーター〉 宮岡 等 北里大学/医薬品医療機器総合機構
〈サブコーディネーター〉 齊尾 武郎 SMBC 日興証券ウェルネス推進室

10:45-12:45 一般シンポジウム 96

認知症の臨床に役立つ神経心理と神経病理—アルツハイマー病とレビー小体病—

司会：川勝 忍 福島県立医科大学会津医療センター精神医学講座
橋本 衛 近畿大学医学部精神神経科学教室

S96-1 認知症の診療に役立つレビー小体病の神経心理

○小林 良太¹、川勝 忍²、森岡 大智¹、鈴木 昭仁¹
¹山形大学医学部精神医学講座、²福島県立医科大学会津医療センター精神医学講座

S96-2 アルツハイマー病の神経心理学

○橋本 衛
近畿大学医学部精神神経科学教室

S96-3 アルツハイマー病の神経病理学

○川勝 忍¹、小林 良太²、森岡 大智²、鈴木 昭仁²¹ 福島県立医科大学会津医療センター精神医学講座、² 山形大学医学部精神医学講座

S96-4 レビー小体病の神経病理学

○笠貫 浩史^{1,2}¹ 聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室、² 順天堂東京江東高齢者医療センター PET/CT 認知症研究センター

〈メインコーディネーター〉 川勝 忍

福島県立医科大学会津医療センター精神医学講座

〈サブコーディネーター〉 橋本 衛

近畿大学医学部精神神経科学教室

13:15-15:15 一般シンポジウム 102

口腔領域の難治性疼痛に対し精神科医は何をすべきか？—歯科医と精神科医によるケースの検討と考察

司会：宮岡 等

北里大学／医薬品医療機器総合機構

名越 泰秀

京都第一赤十字病院精神科

S102-1 歯科医と精神科医の連携において気になる点

○宮岡 等^{1,2}¹ 北里大学、² 医薬品医療機器総合機構

S102-2 精神科リエゾン医療において精神科医に求められるもの

○宮地 英雄^{1,2}¹ こころのホスピタル町田、² そうわクリニックS102-3 口腔領域の難治性疼痛治療の現状と精神科との連携を考える
～歯科医師の立場から～

○村岡 渡

川崎市立井田病院歯科口腔外科

S102-4 口腔領域の難治性疼痛に対する精神科薬物療法—歯科医との適切な連携のために

○名越 泰秀

京都第一赤十字病院精神科

〈メインコーディネーター〉 宮地 英雄

こころのホスピタル町田／そうわクリニック

〈サブコーディネーター〉 宮岡 等

北里大学／医薬品医療機器総合機構

〈サブコーディネーター〉 名越 泰秀

京都第一赤十字病院精神科



6月22日(土) Q会場(札幌市産業振興センター 技能訓練棟 3F セミナールーム 2)

8:30-9:30 一般演題(口演) 20
統合失調症(1)

司会: 来住 由樹 岡山県精神科医療センター

3-O20-1 統合失調症患者の抗精神病薬投与量と血中アディポネクチン(APN)濃度との関連

○大野 泰裕¹、真田 建史¹、廣瀬 俊輔¹、橘 知之¹、杉田 秀太郎¹、宮保 嘉津真¹、齋藤 清美²、肥田 典子³、岩波 明¹

¹ 昭和大学医学部精神医学講座、² 昭和大学薬学部基礎医療薬学講座薬剤学部門、

³ 昭和大学薬学部臨床薬学講座臨床研究開発部門

3-O20-2 多施設臨床脳波データの SuStaln 解析による統合失調症者の層別化

○田村 俊介^{1,4}、中島 振一郎²、品川 俊一郎³、成 儒彬⁴、中西 翔一郎⁴、三笥 良⁴、高井 善史⁴、平野 昭吾⁴、尾久 守侑²、黒瀬 心²、船橋 英樹¹、藤元 貴子¹、鶴田 健二¹、中尾 周平¹、高木 俊輔⁵、越山 太輔⁶、小池 進介⁷、織部 直弥⁴、光藤 崇子⁴、樋口 悠子⁸、朴 秀賢⁹、新井 脩泰^{2,9}、元村 英史¹⁰、鬼塚 俊明⁴、石田 康¹、平野 羊嗣^{1,4}

¹ 宮崎大学医学部臨床神経科学講座精神医学分野、² 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、

³ 東京慈恵会医科大学精神医学講座、⁴ 九州大学大学院医学研究院精神病態医学、

⁵ 東京医科歯科大学病院医系診療部門脳・神経・精神領域精神科、

⁶ 東京大学大学院医学系研究科精神医学分野、⁷ 東京大学大学院総合文化研究科、

⁸ 富山大学学術研究部医学系神経精神医学講座、⁹ 熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学講座、

¹⁰ 三重大学医学部附属病院精神科神経科

3-O20-3 治療抵抗性統合失調症早発型・後発型とクロザピン反応性：多施設共同後方視研究

○岡田 和樹¹、金原 信久¹、大塚 祐司²、山中 浩嗣³、齋賀 孝久⁴、高沖 侑里⁴、伊藤 文晃⁵、木村 大¹、小松 浩⁶、吉田 泰介⁷、菊地 佑樹⁸、大岩 宜博⁹、大野 高志¹⁰、小林 玲美子¹、伊豫 雅臣¹

¹ 千葉大学大学院医学研究院精神医学、² 総合病院国保旭中央病院神経精神科、

³ 千葉県総合救急災害医療センター精神科、⁴ 成田赤十字病院精神神経科、⁵ 国立病院機構花巻病院、

⁶ 東北大学病院精神科、⁷ 木更津病院、⁸ こだまホスピタル精神科、⁹ 磯ヶ谷病院精神科、

¹⁰ 宮城県立精神医療センター精神科

3-O20-4 妊娠を契機に精神症状が悪化した統合失調症患者における妊娠中の抗精神病薬の薬物動態調査

○新武 諒亮¹、小川 匡之²、河合 三穂子¹

¹ 愛知医科大学病院精神神経科、² 愛知医科大学法医学講座

3-O20-5 クロザピン誘発性流涎に対するソフピロニウム臭化物ゲルの前後比較試験

○福森 崇之、石丸 直樹、藤田 啓暉、佐藤 暁、滝澤 弘規、岡田 俊也、田地 枝里、市村 遙、鈴木 順美、本村 啓介、佐久間 寛之、村上 優

国立病院機構さいがた医療センター

9:30-10:30 **一般演題（口演）22**
統合失調症（2）

司会：賀古 勇輝 北海道大学病院附属司法精神医療センター

3-022-1 **統合失調症のリハビリ患者の認知機能・社会機能
～健常者、寛解者との比較～**

○浅田 遼、堀 輝、後藤 玲央、安松 聖滉、飯田 仁志、川寄 弘詔
福岡大学医学部精神医学教室

3-022-2 **なぜパリペリドン 3 ヶ月間隔筋注製剤に移行しないのか？**

○西川 真由¹、三澤 史斉¹、竹内 啓善²
¹山梨県立北病院、²慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

3-022-3 **治療抵抗性統合失調症に対する高用量オランザピンとクロザピンの有効性：
後方視的双方向ミラーイメージ研究**

○渡邊 茉衣子¹、三澤 史斉¹、竹内 啓善²
¹地方独立行政法人山梨県立病院機構山梨県立北病院、²慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

3-022-4 **統合失調症患者における正常圧水頭症の有病率、及び遺伝学的背景の調査**

○吉野 祐太¹、岡野 真梨子¹、久門 啓志²、武田 直也²、立花 亜由美³、吉田 卓³、
上野 修一¹
¹愛媛大学附属病院精神科、²医療法人十全会十全ユリノキ病院、³医療法人誓生会松風病院

3-022-5 **急速に進行した 22Q11.2 欠失症候群の精神症状に対してクロザピンが
有効であった一例**

○星 極¹、松山 光一¹、伊豫 輝臣¹、齋藤 武¹、岡田 和樹¹、小田 靖典¹、佐々木 剛²、
伊豫 雅臣¹
¹千葉大学医学部附属病院精神神経科、²千葉大学医学部附属病院こどものこころ診療部

10:45-11:45 **一般演題（口演）23**
認知症（1）

司会：小原 知之 九州大学病院

3-023-1 **GBA1 遺伝子バリエーションを有しアパシーを呈したパーキンソン病の 1 例**

○有村 尚也¹、塩津 大地¹、近藤 哲也¹、瀬戸下 玄郎¹、新井 薫¹、崎元 仁志¹、
福田 恭哉²、中村 雅之¹
¹鹿児島大学大学院医歯学総合研究科精神機能病学分野、²公益財団法人慈愛会谷山病院

3-023-2 **認知症による真の死亡割合の調査—精神科病院の死亡診断書を通じて—**

○佐藤 謙伍、石塚 晶啓、内村 悠、塩田 勝利、須田 史朗
自治医科大学精神医学講座



3-023-3 ブロナンセリン貼付剤にて BPSD の激しい精神症状を在宅で対応出来た 1 症例

○山口 順嗣
浅草ファミリークリニック

3-023-4 重度の行動・心理症状を有する認知症患者における抗精神病薬投与量推移の後方視的調査

○多田 照生^{1,2,3}、櫻井 準¹、岩田 祐輔³、久保田 正春²、鈴木 健文³、渡邊 衡一郎¹
¹杏林大学医学部精神神経科学教室、²日下部記念病院、³山梨大学医学部精神神経医学講座

3-023-5 認知症患者に対するブロナンセリン貼付剤の適応外使用調査および PANSS-EC による症状評価の検討

○政友 恵夏、山田 来夢、柘野 佑太、文 陽柱、梶ヶ谷 仁志、田中 界、菊池 朝子、若狭 偉育、小澤 千紗、二階堂 亜砂子、高橋 晋、堤 祐一郎
医療法人永寿会恩方病院

11:45-12:45 一般演題（口演）24
認知症（2）

司会：品川 俊一郎 東京慈恵会医科大学精神医学講座

3-024-1 身体症状症と診断されていたレビー小体型認知症の 1 例

○本多 祐也、池原 実伸、高田 涼平、小森 崇史、松岡 究、山室 和彦、牧之段 学
奈良県立医科大学精神医学講座

3-024-2 ものわすれ予防検診における酸素化ヘモグロビンの変動と嗅覚機能及び睡眠機能

○児玉 英也^{1,2,3}、森田 喜一郎^{3,4}、吉村 絵美^{2,3}、音琴 佐和子^{2,3}、佐藤 守^{2,3}、山下 裕之^{2,3}、小路 純央^{2,3}
¹医療法人芳英会宮の陣病院、²久留米大学医学部神経精神医学講座、³久留米大学高次脳疾患研究所、⁴医療法人相和会中村病院

3-024-3 認知症スクリーニング検査としてのリバーミード行動記憶検査（RBMT）の検討

○藤原 祐大¹、豊田 勝孝²、丸山 惣一郎²、北野 誠人¹、戸田 裕之¹、金沢 徹文²
¹防衛医科大学校精神科学講座、²大阪医科薬科大学神経精神医学教室

3-024-4 悪性症候群の出現によりプレクリニカルなレビー小体病であることが判明した一例

○高橋 和史^{1,2}、小幡 興一¹、清水 隆明¹、南風原 泰¹
¹社会医療法人栗山会飯田病院、²六番町メンタルクリニック

3-024-5 認知症の普及啓発、予防、早期発見を目的とした久留米市もの忘れ予防検診の取り組みについて

○児玉 英也^{1,2,3}、森田 喜一郎^{1,2,4}、山下 裕之^{1,2}、吉本 幸治¹、柳本 寛子^{1,2}、佐藤 守^{1,2}、古村 美津代⁵、草場 知子⁵、西村 知子⁵、新 裕紀子⁵、小曾根 基裕²、小路 純央^{1,2}
¹久留米大学高次脳疾患研究所、²久留米大学医学部神経精神医学講座、³医療法人社団芳英会宮の陣病院、⁴特定医療法人相和会中村病院、⁵久留米大学医学部看護学科

13:15-14:15 一般演題（口演）25

地域精神医療

司会：長谷川 雄介 富山市立富山市民病院

3-025-1 遠隔操作型ロボットを用いた離島診療支援の予備的研究

○冠地 信和¹、川田 恵²、吉川 雄一郎²、馬場 惇³、宮下 敬宏⁴、石黒 浩²、
麻生 有⁵、熊崎 博一¹¹長崎大学病院精神科神経科、²大阪大学大学院基礎工学研究科、³株式会社サイバーエージェント、
⁴国際電気通信基礎技術研究所、⁵五島市国民健康保険久賀診療所

3-025-2 総合病院精神科の課題：総合病院精神医学会基礎調査 2022 の結果から

○船山 道隆

足利赤十字病院神経精神科

3-025-3 【再考】地域における三次救命救急センターと精神科医療機関の連携多様性について

○白杵 理人^{1,2}¹国立病院機構災害医療センター、²一般社団法人日本うつ病センター

3-025-4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムにおける総合病院精神科の役割と課題

○佐竹 直子¹、平 俊浩²、辻野 尚久³、小石川 比良来⁴、小林 清香⁵、佐々木 由里香⁶、
橋本 聡⁷、羽田 彩子⁸、藤井 千代⁸¹国立国際医療研究センター国府台病院、²福山市民病院、³済生会横浜市東部病院、⁴亀田総合病院、
⁵埼玉医科大学総合医療センターメンタルクリニック、⁶山梨県立中央病院、
⁷国立病院機構熊本医療センター、⁸国立精神神経医療研究センター精神保健研究所

3-025-5 総合病院精神科における精神科専門医研修について

○佐藤 茂樹

成田赤十字病院精神神経科

14:15-15:15 一般演題（口演）26

器質・症状性精神障害

司会：山本 賢司 東海大学医学部総合診療学系精神科学

3-026-1 統合失調症を疑われた若年発症の致死性家族性不眠症の一例

○柄澤 聡暉、上村 永、村田 佳子、新井 久稔、桑原 斉、松尾 幸治
埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科

3-026-2 精神科病院におけるリチウム中毒の発症状況

○北元 健、堀 達

碧水会長谷川病院



3-026-3 COVID-19 を契機に発症した Agitation を伴う Bickerstaff 脳幹脳炎の一例

○中西 健太

医療法人生会松蔭病院

3-026-4 適応障害の背景にある高次脳機能障害を把握する必要性：
右頭頂 - 側頭 - 後頭葉の心原性脳梗塞の1例

○中根 弓那¹、滝上 紘之¹、二宮 朗¹、前田 貴記¹、内田 裕之¹、船山 道隆^{1,2}

¹ 慶應義塾大学病院精神神経学教室、² 足利赤十字病院精神神経科

3-026-5 多彩な精神症状を呈した抗 NMDA 受容体抗体陽性の抗 MOG 抗体関連疾患の皮
質性脳炎

○手島 由利恵¹、冠地 信和¹、中村 康司¹、大橋 愛子¹、田山 達之¹、吉村 俊祐²、
熊崎 博一¹

¹ 長崎大学病院精神科神経科、² 長崎大学病院脳神経内科

6月22日(土) ポスター会場(札幌市産業振興センター 技能訓練棟 2F 体育実習室)

8:30-9:30 一般演題(ポスター) 35
心理社会的療法(1)

司会: 中川 敦夫 聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室

3-P35-1 双極性障害のための短期集団心理教育参加者が経験した変化のプロセス

○井上 敦子¹、小林 清香²、西村 勝治³

¹東京女子医科大学病院神経精神科、²埼玉医科大学医学部総合医療センターメンタルクリニック、
³東京女子医科大学医学部精神医学

3-P35-2 入院精神疾患患者における退院後の社会活動状況を予測する作業療法要因

○長島 泉^{1,3}、早坂 友成^{1,2,3}、星野 未来³、照屋 浩司¹、片桐 建志^{2,3}、今村 弥生^{2,3}、
松本 泰幸^{2,3}、村尾 昌美^{2,3}、栗原 真理子^{2,3}、大江 悠樹^{2,3}、吉田 信子³、青鹿 由紀³、
坪井 貴嗣^{2,3}、櫻井 準^{2,3}、渡邊 衡一郎^{2,3}

¹杏林大学保健学部、²杏林大学医学部、³杏林大学医学部附属病院

3-P35-3 仮想空間を利用した統合失調症患者を中心とした居場所づくりの支援の実践報告

○岡田 夕子¹、松崎 朝樹²

¹五十嵐クリニック、²筑波大学医学医療系精神医学域

3-P35-4 Virtual Reality を用いた Social Skills Training による社会機能に関する観察研究

○高野 隼、越川 陽介、清水 敏幸、菊 奈弥子、高野 翔子、池田 俊一郎、加藤 正樹、
木下 利彦、嶽北 佳輝

関西医科大学医学部精神神経科学講座

3-P35-5 AI を使ったオンライン、メンタルチェックの可能性
～「AI ドクター Mente」を6カ月運用して

○樺沢 紫苑¹、山崎 清裕²、近澤 徹²

¹(株) 樺沢心理学研究所、²株式会社 Medi Face

8:30-9:30 一般演題(ポスター) 36
神経画像

司会: 岡田 直大 東京大学国際高等研究所 ニューロインテリジェンス国際研究機構

3-P36-1 MEG を用いたリップル波解析による統合失調症安静時神経活動研究

○武井 雄一¹、大城 武史¹、須永 匡一¹、加藤 隆^{1,2}、田川 みなみ³、須藤 友博³、
大井 麗子¹、福田 正人¹

¹群馬大学大学院医学系研究科神経精神医学教室、²つつじメンタルホスピタル、
³群馬県立精神医療センター



3-P36-2 治療抵抗性うつ病患者における反復経頭蓋磁気刺激 (rTMS) 治療前後の脳構造変化

○松澤 友斗¹、小高 文聰^{1,4}、山崎 龍一¹、松田 勇紀^{1,4,5}、松島 理士²、石井 洵平¹、北川 久³、垂石 七星¹、中澤 亜美¹、野口 景司³、森 啓輔¹、尾尻 博也²、繁田 雅弘¹、鬼頭 伸輔^{1,4}

¹ 東京慈恵会医科大学精神医学講座、² 東京慈恵会医科大学放射線医学講座、
³ 東京慈恵会医科大学附属病院放射線部、⁴ 国立精神・神経医療研究センター病院、
⁵ 京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康増進・行動学

3-P36-3 ワーカホリック脳と物質嗜癖脳の類似性

○中川 誠秀¹、丹生谷 正史¹、櫻田 久美²、吉村 淳¹、鈴木 映二¹

¹ 東北医科薬科大学精神科学、² 仙台赤十字病院精神科

3-P36-4 多施設大規模脳神経 MRI 画像研究のデータベース基盤整備と画像データの質評価システム構築研究

○松本 純弥¹、高野 晴成¹、根本 清貴¹、福永 雅喜¹、三浦 健一郎¹、杉崎 友美¹、伊藤 颯姫¹、岡田 直大¹、小池 進介²、岡田 剛³、肥田 道彦⁴、橋本 直樹¹、大井 一高¹、高橋 努¹、宮田 淳¹、中村 元昭¹、中島 振一郎¹、沼田 周助¹、牧之段 学¹、長谷川 尚美¹、安田 由華¹、藤本 美智子¹、山森 英長¹、鬼塚 俊明¹、渡邊 嘉之¹、吉村 玲児¹、中川 伸¹、尾崎 紀夫¹、橋本 亮太¹

¹ 国立精神・神経医療研究センター、² 東京大学、³ 広島大学、⁴ 日本医科大学

3-P36-5 情動賦活に伴う脳磁場応答の因果性

○加藤 隆^{1,2}、武井 雄一²、須永 匡一²、大井 麗子²、三村 将³、福田 正人²

¹ つつじメンタルホスピタル、² 群馬大学大学院医学系研究科神経精神医学教室、
³ 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

3-P36-6 脳磁図による双極性障害の安静時ネットワークの検討

○須永 匡一¹、武井 雄一¹、加藤 隆²、田川 みなみ³、須藤 友博³、大城 武史¹、大井 麗子¹、福田 正人¹

¹ 群馬大学大学院医学系研究科神経精神医学教室、² つつじメンタルホスピタル、
³ 群馬県立精神医療センター

8:30-9:30 一般演題 (ポスター) 37
発達障害 (1)

司会： 下出 崇輝 しもでメンタルクリニック平岸分院

3-P37-1 日本語版 Barkley 成人 ADHD (注意欠如多動性障害) 評価スケール -IV の信頼性および妥当性の検討

○青柳 啓介^{1,2}、富田 秋沙²、林 若穂²、花輪 洋一²、鈴木 洋久²、中村 暖²、高塩 理²、岩波 明²

¹ 昭和大学大学院医学研究科医学専攻 (精神医学分野)、² 昭和大学医学部精神医学講座

3-P37-2 自閉スペクトラム症を持つ進行がん患者 3 例に対する緩和ケアの経験

○柴田 昌紀、倉田 明子、増田 慶一、岡田 剛
広島大学病院精神科

3-P37-3 時間知覚と時間管理から考える成人の発達障害 -1. 質問票の作成を目指して -

○高山 英也、角谷 陽平、藤田 宗久、大田垣 昂、榎戸 芙佐子、谷野 亮一郎、松田 文恵、
谷口 園子、米本 智美、関 芙美
医療法人社団和敬会谷野呉山病院精神科

3-P37-4 成人発達障害専門外来における診断名の傾向～5年の年月が経って～

○中村 善文¹、太田 晴久^{1,2}、中村 元昭^{1,2}、沖村 幸^{1,2}、橘 知之^{1,2}、山田 真理^{1,2}、
中井 文香¹、小田 也寸志¹、西尾 崇志¹、加藤 進昌²、岩波 明¹
¹ 昭和大学精神医学講座、² 昭和大学発達障害医療研究所

3-P37-5 日本における注意欠如多動症の有病及び発生割合、薬物処方率、及び精神科併存症の罹患リスクにおける性差

○岡田 俊^{1,2}、外立 拓真³、小笠原 真理³、西垣 信裕³
¹ 奈良県立医科大学精神医学講座、
² 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的・発達障害研究部、
³ 武田薬品工業株式会社ジャパンメディカルオフィス

3-P37-6 注意欠陥多動性障害の診断と治療開始には慎重な評価が必要である：千葉大学病院における臨床統計調査

○鈴木 耕輔、新津 富央、加藤 麻里亜、伊豫 雅臣
千葉大学大学院医学研究院精神医学

9:30-10:30 **一般演題（ポスター） 38**
心理社会的療法（2）

司会：岡田 暁宜 名古屋大学総合保健体育科学センター / 大学院医学系研究科精神健康医学

3-P38-1 臨床現場におけるボーダーラインシフトの真の意義

○深尾 琢
岐阜大学保健管理センター

3-P38-2 虚偽の訴えのある 4 症例の直面化に関する比較検討

○船橋 英樹、津曲 麻依、鶴田 健二、中尾 周平、矢野間 悠晟、赤松 有希子、山下 真由子、
藤元 貴子、石本 明実、上野 鷹司郎、久保 浩明、平野 羊嗣、石田 康
宮崎大学医学部臨床神経科学講座精神医学分野

3-P38-3 催眠療法の臨床的有用性について

○戸部 有希子
三成会新百合ヶ丘総合病院



3-P38-4 難治性摂食障害の患者が底つき体験を通じて回復への転機が生じた一例

○古茶 歩、渡邊 亮、古茶 大樹
聖マリアンナ医科大学病院神経精神科

3-P38-5 「気分と疲労のチェックリスト SMSF」を用いた精神科作業療法の効果測定の検証

○長橋 泰聖、和田 央、高橋 浩平
日本赤十字社大阪赤十字病院

3-P38-6 潜在プロファイル分析を用いたボンディング障害のサブタイプの検討

○萩原 康輔¹、陳冲¹、大久保 亮²、大川 純代³、中川 伸¹、田淵 貴大⁴
¹ 山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座、² 帯広病院精神科、
³ 国立国際医療研究センター国際医療協力局グローバルヘルス政策研究センター、
⁴ 大阪国際がんセンターがん対策センター

9:30-10:30 一般演題（ポスター）39
神経症

司会： 榊原 英輔 東京大学医学部附属病院

3-P39-1 心因性非てんかん性発作の診断に誘発手技を用いた症例の検討

○中村 悠一、三戸 麻友紗、堀之内 徹、久住 一郎
北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室

3-P39-2 PTSD/フラッシュバックに対する桂枝加芍薬湯と四物湯の併用療法・通称「神田橋処方」の分子生物学的解析

○宮川 晃一¹、内海 潤²、山田 大輔³、斉藤 顕宜³、富永 光俊²、高森 建二²
¹ 順天堂大学医学部附属浦安病院メンタルクリニック、
² 順天堂大学大学院医学研究科環境医学研究所、³ 東京理科大学薬学部

3-P39-3 強迫症へのガイド付きインターネット認知行動療法の長期的有効性と費用対効果：24ヶ月フォローアップ研究

○松本 一記^{1,2}、濱谷 沙世^{2,3}、清水 栄司^{2,4}
¹ 鹿児島大学病院臨床心理室、² 千葉大学子どものこころの発達教育研究センター、
³ 福井大学子どものこころの発達研究センター、⁴ 千葉大学大学院医学研究院認知行動生理学

3-P39-4 強迫症治療における中途脱落例の臨床的特徴に関する後方視的検討

○橋本 卓也¹、向井 馨一郎²、松浦 直己³、橋本 彩⁴、細井 幸彦²、櫻井 正彦²、荻野 俊²、吉田 賀一⁵、林田 和久²、松永 寿人²
¹ 宝塚市立病院、² 兵庫医科大学医学部精神科神経科学講座、³ 三重大学教育学部特別支援教育講座、
⁴ 正仁会明石土山病院、⁵ 兵庫医科大学病院臨床心理部

3-P39-5 COVID-19 流行前と流行中における抑うつへの認知的脆弱性である非機能的態度の比較

○村長 悠、白田 稔則、齋藤 裕介、能登 契介、鈴木 昭仁
山形大学医学部精神医学講座

3-P39-6 解離症治療のエキスパート・コンセンサスを日常臨床に活かす (第2報)

○新谷 宏伸
本庄児玉病院

9:30-10:30 一般演題 (ポスター) 40
発達障害 (2)

司会：菊地 紗耶 東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野

3-P40-1 成人期 ADHD の外来通院者における睡眠クロノタイプと生活習慣に関する
後方視調査

○長塚 雄大^{1,2,3}、真田 建史^{1,2}、岩見 有里子^{2,4}、常岡 俊昭^{1,2}、岩波 明^{1,2}
¹昭和大学附属烏山病院、²昭和大学精神医学講座、³正史会大和病院、⁴昭和大学病院附属東病院

3-P40-2 不安症状を主訴に受診し、治療の進展に伴い自閉スペクトラム症の診断に至った
青年期の2症例について

○高柳 みずほ^{1,2}、古市 厚志^{1,3}、樋口 悠子^{1,4}、高橋 努^{1,4}、辻井 農重⁵、鈴木 道雄^{1,4}
¹富山大学学術研究部医学系神経精神医学講座、²医療法人社団四方会有沢橋病院、
³アイ・クリニック、⁴富山大学研究推進機構アイドリング脳科学研究センター、
⁵富山大学附属病院こどものこころと発達診療学講座

3-P40-3 大学入学後の逆境体験により sluggish cognitive tempo の症状を呈した2例

○武田 俊信
龍谷大学

3-P40-4 行動障害への一般精神科外来でのマネージメント

○安藤 直也、遠藤 謙二
医療法人友愛会千曲荘病院

3-P40-5 死亡した母親を自宅で長期間放置し精神疾患が疑われた自閉スペクトラム症の
1例

○宮本 聖也¹、伏屋 研二^{1,2}、山形 美紗子¹、岩下 覚¹、古茶 大樹²
¹社会福祉法人桜ヶ丘社会事業協会桜ヶ丘記念病院、²聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室

3-P40-6 重度知的能力障害を背景に難治性てんかんと行動障害を持つ CACNA1A
ミスセンス変異の一例

○中田 千尋¹、谷口 豪¹、大竹 真央¹、藤 雄一朗^{1,2}、加藤 英生¹、樋口 早子³、
中川 栄二¹
¹国立精神・神経医療研究センター病院てんかん診療部、²国立療養所多磨全生園精神神経科、
³国立精神・神経医療研究センター病院精神科



10:45-11:45 一般演題（ポスター） 41
神経生理

司会：橋岡 禎征 旭川医科大学精神医学講座

3-P41-1 急性期精神科入院患者における好中球・リンパ球数比と入院期間との関連：
横断研究

○辻 利佳子、日浦 悠斗、石藏 勇基、末吉 利成、商 真哲、成島 直紀、羽岡 健史、寺尾 敦、
菊池 章

医療法人白翔会浦和神経サナトリウム

3-P41-2 グルテン不耐症と過敏性腸症候群の関連性
-免疫学的指標および精神・身体症状の解析-

○本山 美久仁、山田 恒、前林 憲誠、吉村 知穂、松永 寿人

兵庫医科大学精神科神経科学講座

3-P41-3 心電図上における高振幅早期再分極所見の有無と精神科外来患者における
臨床所見との関連

○亀山 洋^{1,2}、杉本 健一³、政木 隆博³、小高 文聡²、忽滑谷 和孝²、繁田 雅弘¹

¹東京慈恵会医科大学精神医学講座、²東京慈恵会医科大学附属柏病院精神神経科、

³東京慈恵会医科大学中央検査部

3-P41-4 急性の精神症状で発症し亜昏迷を認めた大脳皮質基底核変性症の剖検例

○清水 沙織里¹、齊藤 勇二²、水谷 真志³、佐野 輝典³、佐竹 直子⁴、高尾 昌樹³

¹国立精神神経医療研究センター精神科、²国立精神神経医療研究センター脳神経内科、

³国立精神神経医療研究センター臨床検査部、⁴国立国際医療研究センター国府台病院精神科

3-P41-5 名古屋ブレインバンクコンソーシアム（NBBC）のこれまでの取り組みと展望

○関口 裕孝¹、鳥居 洋太⁴、三輪 綾子²、笹田 和見²、羽瀨 知可子³、高木 宏³、
荒深 周生⁴、竹田 和弘⁴、藤城 弘樹⁴、藤田 潔¹、吉田 眞理⁵、岩崎 靖⁵、
入谷 修司¹

¹桶狭間病院藤田こころケアセンター、²もりやま総合心療病院、³愛知県精神医療センター、

⁴名古屋大学大学院医学系研究科精神医学、⁵愛知医科大学加齢医科学研究所

3-P41-6 トレースアミン関連受容体1型（TAAR1）リガンドニューロン、
D-ニューロンについての研究：PEA との関連

○池本 桂子

東京大学大学院医学系研究科脳神経医学専攻精神医学分野

10:45-11:45 一般演題（ポスター） 42
精神医学教育・研修

司会：堀之内 徹 北海道大学病院精神科神経科

- 3-P42-1 英文論文主流の中で精神神経学雑誌はどのように変わるべきなのか～当事者、家族、一投稿者の視点からの考察
○夏苺 郁子
やきつべの径診療所
- 3-P42-2 精神科ローテート中の初期研修医の自閉症様特性と燃え尽き / 抑うつとの関連について
○渡辺 孝文、明智 龍男
名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野
- 3-P42-3 リエゾン精神科医の育成を考える
～若手医師及び精神科リエゾン専門医・指導医に対するアンケート調査より～
○和田 佐保^{1,7,8}、和田 健^{2,7}、大矢 希^{3,7,8}、治徳 大介^{4,7}、岩田 正明^{5,7}、西村 勝治^{6,7}
¹ 国立がん研究センターがん対策研究所がん医療支援部 / 中央病院精神腫瘍科、
² 広島市立広島市民病院精神科、³ 京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学、
⁴ 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科精神行動医学分野、
⁵ 鳥取大学医学部脳神経医科学講座精神行動医学分野、⁶ 東京女子医科大学医学部精神医学講座、
⁷ 日本総合病院精神医学会専門医制度委員会、⁸ 日本総合病院精神医学会若手委員会
- 3-P42-4 令和6年版医師国家試験出題基準の改定と精神科領域における卒前教育の見直し
○廣岡 孝陽、稲田 健
北里大学医学部精神科学
- 3-P42-5 精神科医 YouTuber としての活動および取材・講演依頼などから得られたヒント
○益田 裕介
早稲田メンタルクリニック
- 3-P42-6 PET を用いた老年期うつ病とタウ蛋白の関連についての検討
○黒田 瑠香¹、坂寄 健²、大矢 智之²、内山 翔太郎²、野上 毅²、荒川 亮介³、
館野 周²
¹ 日本医科大学、² 日本医科大学附属病院精神神経科、³ 日本医科大学薬理学教室
- 3-P42-7 老年期うつ病におけるタウ蛋白とドパミン機能についての PET を用いた検討
○藤川 涼子¹、坂寄 健²、大矢 智之²、内山 翔太郎²、野上 毅²、荒川 亮介³、
館野 周²
¹ 日本医科大学、² 日本医科大学附属病院精神神経科、³ 日本医科大学薬理学教室



10:45-11:45 **一般演題（ポスター） 43**
薬物療法（1）

司会：岸田 郁子 医療法人社団清心会藤沢病院

3-P43-1 うつ病・うつ状態に対するボルチオキセチン（VOR）の有用性
- 当病院外来における1年間の使用経験からの検討 -

○岩崎 真三
（医・社）浅ノ川桜ヶ丘病院

3-P43-2 維持療法中の双極性障害における類型別の薬物療法の特徴

○常泉 陽介、小高 文聰、石井 洵平、森 啓輔、酒井 祥行、小林 珠代、繁田 雅弘
東京慈恵会医科大学精神医学講座

3-P43-3 持続性知覚性姿勢誘発めまいに対しパロキセチンが有効であった一例

○林田 哲尚、横山 遼、中村 倫之、小曾根 基裕
久留米大学医学部神経精神医学講座

3-P43-4 内服拒否により投薬に苦労を要した統合失調症の症例

○加門 佳明、渡邊 敬文、福田 正道、天神 雄也、中村 満
医療法人社団翠会成増厚生病院

3-P43-5 治療抵抗性統合失調症に対するクロザピンの治療意義と副作用に関する看護師の意識調査

○日高 美咲、鮫島 宥、赤峰 彩楓、水野 謙太郎
社会医療法人如月会若草病院

3-P43-6 総合病院入院患者における Blonanserin 貼付剤の使用実態調査

○上野 祐介、石川 一朗、大川 健太、中村 祐
香川大学医学部附属病院精神科神経科

11:45-12:45 **一般演題（ポスター） 44**
精神保健・福祉

司会：小田原 俊成 横浜市立大学学術院医学群保健管理センター

3-P44-1 神経性やせ症の病識と非同意入院の適応：10代から入院を繰り返し成人年齢で医療保護入院した事例からの考察

○白石 直、小川（池澤）晴香、明智 龍男
名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野

3-P44-2 精神科デイケア通所者が助け合いを意識する要因

○杉山 悠¹、深田 尚子²
¹医療法人明和会琵琶湖病院、²医療法人積仁会岡部病院

3-P44-3 東京都立松沢病院における包括的支援マネジメントに関する研究
介入1年後の転帰

○岡村 泰¹、荒川 育子¹、西 宏隆¹、佐藤 さやか²、小池 純子²、吉田 光爾³、
山口 創生²、藤井 千代²、水野 雅文¹

¹ 東京都立松沢病院、² 国立精神・神経医療研究センター、³ 東洋大学

3-P44-4 日本における精神科退院前訪問看護の実施状況：
2021年度のNDBオープンデータより

○菊地 信示郎¹、森内 加奈恵¹、野崎 章子²、吉村 健佑³

¹ 千葉大学医学部附属病院、² 千葉大学大学院看護学研究院、³ 千葉大学病院次世代医療構想センター

3-P44-5 大学生の生活習慣アンケート調査

○岡田 優、新田 明美

大阪成蹊大学

3-P44-6 一般人口の思春期における心理・行動症状の軌跡と希死念慮の関係

○宇野 晃人¹、長岡 大樹¹、宇佐美 慧²、山口 智史³、南 倫¹、田中 李樹¹、
澤井 大和¹、大熊 彩子¹、山崎 修道³、宮下 光弘³、西田 淳志³、笠井 清登¹、
安藤 俊太郎¹

¹ 東京大学大学院医学系研究科脳神経医学専攻精神医学、² 東京大学大学院教育学研究科、

³ 東京都医学総合研究所社会健康医学研究センター心の健康ユニット

11:45-12:45 一般演題（ポスター）45
薬物療法（2）

司会：内藤 宏 藤田医科大学医学部精神神経科学

3-P45-1 統合失調症患者におけるブレクスピプラゾールの睡眠構築への影響評価

○荒井 勇輔^{1,2}、篠山 大明^{1,3}、倉石 和明²、村田 志保²、白田 信光²、小井戸 実佳²、
中島 優香²、鷲塚 伸介¹

¹ 信州大学医学部精神医学教室、² 栗田病院精神科、

³ 信州大学医学部附属病院子どものこころ診療部

3-P45-2 精神科病院と大学病院におけるブロナンセリンテープ使用実態調査

○杉本 裕子¹、藤田 貢平²、森 康浩²

¹ 松蔭病院、² 愛知医科大学病院

3-P45-3 うつ病性障害における余剰薬物発生の予測因子

○中澤 亜美、小高 文聰、森 啓輔、石井 洵平、小林 珠代、常泉 陽介、松澤 友斗、
酒井 祥行、繁田 雅弘

東京慈恵会医科大学精神医学講座

3-P45-4 持続性気分障害に五苓散が効果のあった2症例

○松河 理子

花園大学社会福祉学部臨床心理学科



3-P45-5 微量の非定型抗精神病薬は、ベンゾジアゼピン系抗不安薬に代わりうるか
- 第2報 -

○宮本 洋

聖和会つくば病院

3-P45-6 薬剤師による向精神薬の頓用処方モニタリングが退院時の処方内容に与える影響

○澄田 恭平¹、齊藤 善貴²、村岡 寛之²、鈴木 龍太郎³、西川 大曜²、三宅 槇²、
丹野 行博²、飛田 夕紀^{1,4}、尾鳥 勝也^{1,4}、大石 智²、稲田 健²

¹北里大学病院薬剤部、²北里大学医学部精神科学、³北里大学医学部地域児童精神科医療学、

⁴北里大学薬学部